

(別紙3)  
発大総福第1049号  
令和6年8月8日

大山町保健福祉センターだいせん  
社会福祉法人 大山町社会福祉協議会  
会長 大原 毅 様

大山町長 竹口 大紀  
(公印省略)

令和5年度「大山町保健福祉センターだいせん」指定管理者業務評価書

施設名	大山町保健福祉センターだいせん
施設所管課	総合福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 大山町社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年目)

**【モニタリング終了後の総評】**

**【施設所管課】**

- ・施設利用者数及び事業開催回数共に前年に比べ大幅に増加している。引き続き増加に向けて努めていただきたい。
- ・築年数が経過した建物であるため、大小様々な修繕箇所が出てくるが、日頃の点検と計画的な修繕を行い、安全で快適な施設利用につながるように、引き続き努めていただきたい。

**【第三者評価】**

- ・令和5年度の実績報告を受けたが、特段の問題なし。

**【今後の業務改善方策等の特記事項】**

**【施設所管課】**

- ・特になし。

**【第三者評価】**

- ・特になし。

## 令和 5 年度「大山町保健福祉センターだいせん」モニタリング評価表

施設名	大山町保健福祉センターだいせん	
施設所管課	総合福祉 課	
指定管理者名	団体名	社会福祉法人 大山町社会福祉協議会
	所在地	西伯郡大山町末長503
指定期間	令和5年4月1日	～ 令和6年3月31日
選定方法	公募 ・ 非公募	
施設の設置目的	町民に対して保健、福祉サービスの提供をするとともに健康保持増進、教養の向上、在宅介護、スポーツ及びレクリエーション等の便宜に供し、保健福祉の向上に資する。	
主な実施事業	(1) 高齢者等の支援に関すること。(2) 生活文化の醸成に関すること。(3) 交流活動の推進に関すること。(4) 健康増進とレクリエーションに関すること。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認(65点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか	B	適切に配置がなされている
	安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	各部屋に避難経路図が掲示されている
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	適切に行われている
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	広報活動が行われている
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケート調査票が設置されている
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている

	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている
	4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	適切に実施されている
	5 情報公開・個人情報にかかわる措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	適切に行われている
	6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	
<b>II サービスの質の評価(25点)</b>				
	1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	妥当である
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	良好
	3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	適切である
	4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	設置目的に沿ったものである
	5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	設置目的の達成に資するものであった
<b>III サービスの安全性の評価(10点)</b>				
	1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	
	2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	
<b>【総評(所管課評価)】</b> 施設利用者数及び事業開催回数共に前年に比べ大幅に増加している。引き続き増加に向けて努めていただきたい。 築年数が経過した建物であるため、大小様々な修繕箇所が出てくるが、日頃の点検と計画的な修繕を行い、安全で快適な施設利用につながるよう、引き続き努めていただきたい。			合計点 ( 60 ) 点 / ( 100 ) 点 ×100 = ( 60 )  平均点 ( 3.0 )	

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 (5点)
  - B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である (3点)
  - C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。 (1点)
  - D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。 (0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法(例:立入調査、台帳確認、資料等確認)と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	324 日	323 日	1、 100.3 (%)	
施設利用者数	5,682 人	4,142 人	1,540、 137.2 (%)	コロナが5類に移行したため、 利用者数増加
施設稼働率	88.8 %	88.5 %	0.3、 100.3 (%)	
事業開催数	461 回	272 回	189、 169.5 (%)	コロナが5類に移行したため、 事業開催数増加

※2 事業収支

(1) 収入

項 目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	419,739	373,978	45,761、 112.2 (%)	
指定管理料	15,842,000	15,842,000	0、 100.0 (%)	
			(%)	
			(%)	
			(%)	
その他	0	0	(%)	
合計	16,261,739	16,215,978	45,761、 100.3 (%)	

(2) 支出

項 目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	0	0	(%)	
消耗品費	103,661	131,694	▲ 28,033、 78.7 (%)	消耗品購入物品減のため
光熱水費	5,626,941	6,093,759	▲ 466,818、 92.3 (%)	
燃料代	2,427,128	2,041,791	385,337、 118.9 (%)	
賃借料	158,247	174,053	▲ 15,806、 90.9 (%)	
修繕費	305,406	819,107	▲ 513,701、 37.3 (%)	修繕箇所減のため
通信運搬費	56,737	60,100	▲ 3,363、 94.4 (%)	
業務委託費	5,795,486	5,732,085	63,401、 101.1 (%)	
合計	14,473,606	15,052,589	▲ 578,983、 96.2 (%)	

※ 3 経営状況分析指標

項目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	1,788,133 円	1,163,389 円	624,744、153.7 (%)	利用料収入の増及び、支出合計の減のため
②利用料金比率	2.6 %	2.3 %	0、113.0 (%)	
③人件費比率	0.0 %	0.0 %	(%)	
④外部委託費比率	40.0 %	38.1 %	0、105.2 (%)	
⑤利用者当たり 管理コスト	2,547 円	3,634 円	▲ 1,087、70.1 (%)	施設利用者数増のため
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	2,788 円	3,825 円	▲ 1,037、72.9 (%)	施設利用者数増のため

① 事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

② 利用料金比率：（利用料金収入／収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③ 人件費率：（人件費／支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④ 外部委託比率（外部委託費合計／支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤ 利用者当たり管理コスト：（支出／延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥ 利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料／延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 利用者からの苦情の内容とそれに対する町・指定管理者の対応や町から指定管理者への指導状況

・苦情なし

5 利用者アンケートの結果

・特段の意見なし